

# CC121

## ADVANCED INTEGRATION CONTROLLER



# 安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## ■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

|   |                         |
|---|-------------------------|
|  | 「ご注意ください」という注意喚起を示します。  |
|  | ～しないでくださいという「禁止」を示します。  |
|  | 「必ず実行」してくださいという強制を示します。 |

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
|---|---|

|   |  |
|---|--|
|  <b>注意</b> | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。 |
|---|--|

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

# 警告

## 電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。  
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。  
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの (PA-3C またはヤマハ推奨の同等品) を使用する。  
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。



禁止

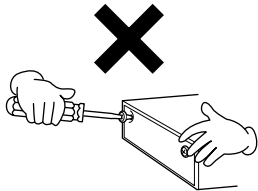
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。  
また、電源コードに重いものをのせない。  
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

## 分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



## 水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本体の上にもうそくなど火気のあるものを置かない。  
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

## 異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

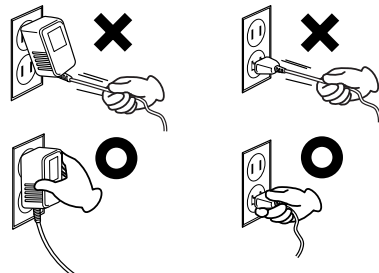
# 注意

## 電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。





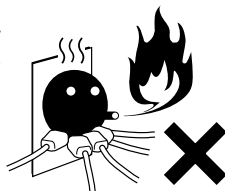
必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



## 設置



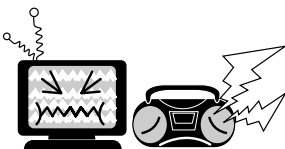
禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話などの電気製品の近くで使用しない。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

## 使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



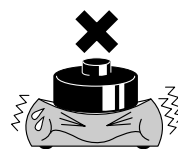
禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



禁止

本体の上ののりたり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



## 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

\* この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ご注意

- ・ このオペレーションガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社 (以下「ヤマハ」) が所有します。
- ・ このオペレーションガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ Steinberg および Cubase は、Steinberg Media Technologies GmbH 社 (以下「Steinberg」) の登録商標です。
- ・ この製品は、Steinberg およびヤマハ が著作権を有する著作物や Steinberg およびヤマハ が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや音楽データなどのコンテンツを含みます。Steinberg およびヤマハ の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
- ・ Steinberg、ヤマハ および第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Mac および Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

# はじめに

このたびは、アドバンスドインテグレーションコントローラー CC121 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CC121 は、Cubase を使った音楽制作に最適なコントローラーです。USB ケーブルを使ってコンピューターに接続するだけで、すぐに Cubase との快適な音楽制作環境を構築できます。

CC121 の優れた機能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、このオペレーションマニュアルをご使用前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

## 特長

### Cubase 専用コントローラー

CC121 は、Cubase 4.5/Cubase AI 4.5 などの連携機能に対応した Cubase(15 ページ) の専用コントローラーです。Cubase に最適化された連携機能を多数搭載しており、USB ケーブルを使ってコンピューターに接続するだけで、ワークフローに沿った効率のよい音楽制作が行なえます。

### AI KNOB によるストレスのないパラメーターコントロール

CC121 に搭載された AI KNOB は、Cubase 上の様々なパラメーターにマウスポインターをあてるだけで、瞬時に該当するパラメーターをコントロールできます。また、パラメーターにマウスポインターをあてた状態で [LOCK] ボタンをオンにすると、マウスポインターの位置に関係なく特定のパラメーターだけをコントロールできます。このような操作により、ストレスのないスムーズなパラメーターコントロールを可能にします。

### VST オーディオチャンネル設定およびトランスポートの直感的な操作

Cubase の VST オーディオチャンネル設定画面およびトランスポート部を CC121 からダイレクトにコントロールできます。また、タッチセンス付きのモーターフェーダーを使ったオートメーションの作成や、EQ のコントロールまでを直感的に操作できます。各ボタンは、Cubase 上の該当ボタンと同様の配色で光るようになっており、各機能の状態をすぐに確認できます。

### アサインナブルな FUNCTION ボタンを搭載

CC121 に搭載された FUNCTION [1] ~ [4] ボタンは、Cubase のさまざまなパラメーターを自由に割り当てて使用できるアサインナブルコントローラーです。さらに、Cubase シリーズの中で最上位の Cubase 4.5 以上を使えば、コントロールルームミキサーを操作する 2 種類のテンプレートを利用できます。

### USB バスパワー動作

コンピューターの USB 端子から CC121 へ電源を供給する USB バスパワーに対応しています。コンピューターと CC121 を USB ケーブル 1 本で接続するだけで、CC121 に電源を供給できます。また付属の AC アダプターを使用すると、モーターフェーダー (タッチセンス付き) が使用可能になります。

## 目次

|                    |    |                             |    |
|--------------------|----|-----------------------------|----|
| はじめに.....          | 6  | フェーダーのタッチセンス感度を調整する.....    | 21 |
| 特長.....            | 6  | トラブルシューティング.....            | 22 |
| パッケージの内容.....      | 7  | 仕様.....                     | 22 |
| 付属のディスクについて.....   | 7  | TOOLS for CC121 のご使用条件..... | 23 |
| 電源の準備.....         | 8  | Cubase AI 4 のご使用条件.....     | 24 |
| ソフトウェアのインストール..... | 10 | ユーザーサポートサービスについて.....       | 29 |
| セットアップ.....        | 14 |                             |    |
| 各部の名称と機能.....      | 15 |                             |    |

# パッケージの内容

CC121 のパッケージには、次のものが同梱されています。箱を開けたらまず同梱品を確認してください。

- ・ CC121 本体
- ・ 電源アダプター (PA-3C またはヤマハ推奨の同等品)
- ・ CC121 オペレーションマニュアル (本書)
- ・ 保証書
- ・ USB ケーブル
- ・ TOOLS for CC121 CD-ROM
- ・ Cubase AI 4 DVD-ROM

## 付属のディスクについて

### ディスクの内容

付属ディスク (TOOLS for CC121 CD-ROM、Cubase AI 4 DVD-ROM) には、以下のソフトウェアが収録されています。

#### TOOLS for CC121 CD-ROM

- ・ Steinberg CC121 Extension インストーラー
- ・ USB-MIDI ドライバー



#### Cubase AI 4 DVD-ROM

- ・ Cubase AI 4 (Windows/Macintosh)

#### 重要！

各ディスクは、23 と 24 ページに記載しているソフトウェアのご使用条件を十分お読みいただき、ご同意のうえで開封してください。開封された場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意していただいたこととなります。

### ディスク使用上のご注意

-  お客様がこのディスク / ソフトウェアの複製を試みた結果生じた損害については、Steinberg 社およびヤマハ株式会社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
-  同梱されているソフトウェアのディスクは、オーディオ / 映像用ではありません。コンピューター以外の機器では絶対に使用しないでください。

- ・ TOOLS for CC121 CD-ROM に収録されている USB-MIDI ドライバー、Steinberg CC121 Extension の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ Cubase AI 4 DVD-ROM の著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH 社が所有します。
- ・ ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 付属ディスクに収録されているソフトウェアの最新情報は、下記 URL をご参照ください。バージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、Web での対応とさせていただきます。  
[http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates\\_cc121\\_j](http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_cc121_j)

## ソフトウェアの動作環境

付属ディスク (Cubase AI 4、TOOLS for CC121) に収録されているソフトウェアをインストールしてお使いいただくためには、以下の動作環境が必要です。

### NOTE

- ・ お使いの OS によっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

### Windows

|          |   |
|----------|---|
| OS       | : Windows XP Professional/XP Home Edition/Vista (32 ビット版) |
| CPU      | : Pentium 1.4GHz 以上                                       |
| メモリー     | : 512MB   |
| 画面解像度    | : 1280 × 800 -フルカラー                                       |
| インターフェース | : USB 端子を搭載していること   |
| ハードディスク  | : 1GB 以上の空き容量、高速なハードディスク                                  |

### Macintosh

|          |   |
|----------|---|
| OS       | : Mac OS X 10.4.x/Mac OS X 10.5.x         |
| CPU      | : PowerPC G4 1GHz または Core Solo 1.5GHz 以上 |
| メモリー     | : 512MB                                   |
| 画面解像度    | : 1280 × 800 -フルカラー                       |
| インターフェース | : USB 端子を搭載していること                         |
| ハードディスク  | : 1GB 以上の空き容量、高速なハードディスク                  |

### NOTE

- ・ Cubase AI 4 のインストールには、DVD ドライブが必要になります。
- ・ Cubase AI 4 を継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットの接続が必要になります。


## 電源の準備

### 電源の準備

CC121 を起動させるには、USB バスパワーによる電源供給が必要になります。また、本体に搭載されているモーターフェーダーを駆動させるには、付属の電源アダプターによる電源供給が必要になります。ここではすべての動作が可能になるように、USB バスパワーと電源アダプター両方の準備について説明します。

### 重要！

**電源アダプターだけを CC121 に接続しても、電源をオンにできません。電源アダプターは、モーターフェーダー駆動用の補助電源です。**

- 1 CC121 のリアパネルにある [STANDBY/ON] スイッチが STANDBY の状態 (  ) であることを確認します。

- 2 コンピューターと CC121 の USB TO HOST 端子を USB ケーブルで接続します。

これで、本体の電源をオンにする準備ができました。モーターフェーダーを駆動させたい場合は、このまま手順 3 で降を行ってください。

- ❗ Macintosh をご使用で CC121 の電源を入れたままにした場合、操作しない状態が長く続いても、コンピューターは省電力モード (スリープ、サスペンドなど) に入れません。この場合、コンピューターから通常使用時の電源が供給され続けるので、コンピューターをバッテリーで動かしている場合はバッテリーの電力が通常使用時と同様に消費されます。コンピューターの消費電力を節約するためにも、長時間使用しない場合は CC121 の電源をオフにしてください。

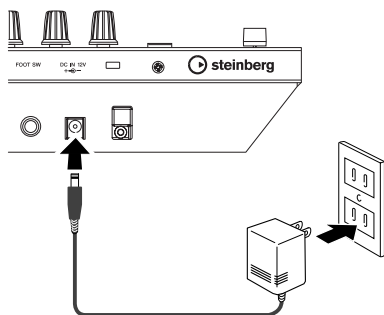
### NOTE

- ・ USB バスパワー機能は、コンピューターとの直結またはセルフパワー方式の USB ハブを使用した場合にのみ利用できます。バスパワー方式の USB ハブ使用時には利用できません。

- 3 電源アダプターのプラグをリアパネルの DC IN 端子に差し込みます。



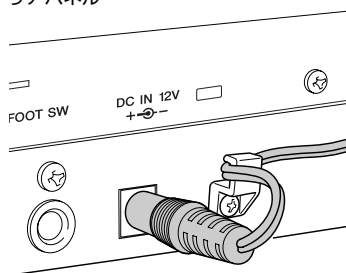
#### 4 アダプターの電源プラグを家庭用 (AC100V) コンセントにしっかり差し込みます。



❗ 電源アダプターは、必ず付属の電源アダプター (PA-3C) またはヤマハ推奨の同等品をご使用ください。ほかの電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このようなときは、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、十分にご注意ください。

❗ CC121 をご使用の場合は、電源アダプターのコードをフックにはめてから DC IN 端子に接続してください。誤ってコードを引っ掛けた場合にプラグが抜けにくくなります。ただし、コード表面の磨耗やフックの破損につながりますので、コードをフックにセットした状態でコードを強く締め込んだり、コードを引っ張ったりすることはおやめください。


リアパネル



#### NOTE

- 電源アダプターの本体への接続および接続の解除は、本体の電源をオンにしてから行なっても問題ありません。

## 電源のオン / オフ

1 電源をオンにするには、[STANDBY/ON]スイッチを押して ON(  ) にします。

2 電源をオフにするには、[STANDBY/ON]スイッチを押して STANDBY(  ) に戻します。

❗ [STANDBY/ON] スイッチが STANDBY の状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源アダプターをコンセントから外し、USBケーブルも CC121 から外してください。

❗ 本体と接続しているコンピューターの電源を切った場合、本体の [STANDBY/ON] スイッチを STANDBY (オフ) にしてください。

#### USB TO HOST 端子ご使用時の注意

USB TO HOST 端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止 (ハングアップ) して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。

コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れなおしてください。



- USB ケーブルは、AB タイプのものをご使用ください。また、1.5 メートル以下のケーブルをご使用ください。
- USB TO HOST 端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力 (サスペンド / スリープ / スタンバイ / 休止) モードを解除してください。
- 本体の電源を入れる前に、USB TO HOST 端子とコンピューターを接続してください。
- 本体の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- 本体の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行なってください。

# ソフトウェアのインストール

CC121 をコンピューターと接続して使用するためには、ソフトウェアのインストールを行なう必要があります。ここではソフトウェアのインストール手順について説明します。まず Cubase AI 4 をインストールし、その後 TOOLS for CC121 をインストールしてください。

## NOTE

- すでに Cubase 4.5 などの CC121 との連携機能に対応した Cubase(15 ページ) をインストールされている場合は、「Cubase AI 4 のインストール」は不要です。「TOOLS for CC121 のインストール」から作業を行なってください。

## Cubase AI 4 のインストール

### 重要!

Cubase AI 4 DVD-ROM は、24 ページに記載している Steinberg ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約 (EULA) を十分お読みいただき、ご同意のうえで開封してください。開封された場合は、このソフトウェアエンドユーザーライセンス契約に同意していただいたことになります。

- 1 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
- 2 Cubase AI 4 DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。
- 3 Windows の場合は「Cubase AI4 for Windows」フォルダーを開き、「CubaseAI4.msi」をダブルクリックします。  
Mac の場合は「Cubase AI4 for MacOS X」フォルダーを開き、「CubaseAI4.mpkg」をダブルクリックします。

## NOTE

- Cubase AI 4 を継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で Cubase AI 4 を起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。

## TOOLS for CC121 のインストール

TOOLS for CC121 CD-ROM には、「Steinberg CC121 Extension」、「USB-MIDI ドライバー」の 2 つのソフトウェアが収録されています。Steinberg CC121 Extension は、CC121 と Cubase との連携機能を実現させるために必要なソフトウェアです。また USB-MIDI ドライバーは、CC121 とコンピューターの通信を可能にするために必要なソフトウェアです。下記手順に従って、これらのソフトウェアをインストールしてください。

## NOTE

- 「Steinberg CC121 Extension」をインストールする前に、Cubase 4.5/Cubase AI 4.5 などの連携機能に対応した Cubase のインストールを必ず行なってください。

### ■ Windows XP の場合

#### インストール前の準備

- 1 CC121 の [STANDBY/ON] スイッチが STANDBY の状態 (■) であることを確認します。
- 2 コンピューターから、マウスとキーボード以外の USB 機器をすべて外し、CC121 をコンピューターの USB 端子にハブを使わず直接つなぎます。
- 3 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。  
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。

- 4 [スタート] → ([設定] →) [コントロールパネル] で、画面左上の「クラシック表示に切り替える」を選択して、すべてのコントロールパネルとアイコンを表示します。

- 5 [システム] → [ハードウェア] → [ドライバの署名] → [ドライバ署名オプション] で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない」を選択して、[OK] をクリックします。

## NOTE

- インストールが終了したら、ここでの設定を元に戻してください。

- 6** [OK] をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の [X] をクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- 7** TOOLS for CC121 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

## Steinberg CC121 Extension のインストール

- 8** CD-ROM 内の「Extensions」フォルダーを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。「Steinberg CC121 Extension セットアップへようこそ」という画面が表示されます。

### NOTE

- ・ インストールされる Steinberg CC121 Extension と同じバージョンのソフトウェアがすでにコンピューターにインストールされている場合は、ファイル削除の確認画面が表示されます。この場合は画面内の [キャンセル] をクリックします。
- ・ 新しいバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、すでに新しいバージョンがインストールされていることを示す画面が表示されます。この場合、インストールは不要です。画面内の [OK] をクリックします。

- 9** [次へ] をクリックすると、インストールが開始されます。  
インストールを中断するには、[キャンセル] をクリックしてください。
- 10** インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。[完了] をクリックします。

## USB-MIDI ドライバーのインストール

- 11** [STANDBY/ON] スイッチを押して、CC121 の電源をオンにします。  
CC121 がコンピューターに認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」という画面が表示されます。

### NOTE

- ・ この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- ・ Windows Update に接続するかどうか選ぶ画面が表示されることがありますが、「いいえ、今回は接続しません」を選んで [次へ] をクリックしてください。

- 12** 「ソフトウェアを自動的にインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。  
USB-MIDI ドライバーのインストールが始まります。

### NOTE

- ・ インストール中、「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示された場合は、「続行」をクリックします。インストールを中止する必要はありません。

- 13** インストールが終わると、インストールが終了した旨の画面が表示されますので、[完了] をクリックします。
- 14** 再起動を促す画面が表示されますので、画面の指示に従ってコンピューターを再起動します。  
これで、USB-MIDI ドライバーのインストールは完了しました。

以上で必要なソフトウェアのインストールは完了です。

## ソフトウェアのアンインストール

あらかじめ下記設定を行なった上で各ソフトウェアを削除してください。

- 1** コンピューターから、マウスとキーボード以外の USB 機器をすべて外します。
- 2** 管理者権限のあるアカウントで Windows にログインします。  
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。

### Steinberg CC121 Extension の削除

- 3** [スタート] → ([設定] →) [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] を選択し、「プログラムの追加と削除」を表示します。
- 4** 左上の「プログラムの変更と削除」をクリックして選び、右側のリストの中から「Steinberg CC121 Extension」を選択します。
- 5** アンインストールを実行するには [変更と削除] / [削除] をクリックします。  
ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

### USB-MIDI ドライバーの削除

- 3** CD-ROM ドライブに TOOLS for CC121 CD-ROM を挿入します。
- 4** CD-ROM 内の「USBdrv2k」フォルダーから「Uninstall」フォルダーを開き、「uninstall.exe」をダブルクリックします。  
画面の指示に従って削除を実行してください。
- 5** 削除を完了するために再起動を促す画面が表示されますので、画面の指示に従ってコンピューターを再起動します。

## ■ Windows Vista の場合

### インストール前の準備

- 1 CC121 の [STANDBY/ON] スイッチが STANDBY の状態 (■) であることを確認します。
- 2 コンピューターから、マウスとキーボード以外の USB 機器をすべて外し、CC121 をコンピューターの USB 端子にハブを使わず直接つなぎます。
- 3 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
- 4 TOOLS for CC121 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

### Steinberg CC121 Extension のインストール

- 5 CD-ROM 内の [Extensions\_ ] フォルダを開き、[setup.exe] をダブルクリックします。「Steinberg CC121 Extension セットアップへようこそ」という画面が表示されます。

#### NOTE

- ・ インストールされる Steinberg CC121 Extension と同じバージョンのソフトウェアがすでにコンピューターにインストールされている場合は、ファイル削除の確認画面が表示されます。この場合は画面内の [キャンセル] をクリックします。
- ・ 新しいバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、すでに新しいバージョンがインストールされていることを示す画面が表示されます。この場合、インストールは不要です。画面内の [OK] をクリックします。

- 6 [次へ] をクリックすると、インストールが開始されます。インストールを中断するには、[キャンセル] をクリックしてください。
- 7 インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。[完了] をクリックします。

### USB-MIDI ドライバーのインストール

- 8 [STANDBY/ON] スイッチを押して、CC121 の電源をオンにします。CC121 がコンピューターに認識され、「新しいハードウェアが見つかりました」という画面が表示されます。

#### NOTE

- ・ この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。

- 9 [ ドライバソフトウェアを検索してインストールします ] → [ オンラインで検索しません ] を選択します。
- 10 付属ディスクの挿入を促す画面が表示されたら、すでに CD-ROM が挿入されていることを確認し、[次へ] をクリックします。USB-MIDI ドライバーのインストールが始まります。

#### NOTE

- ・ インストール中、「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」というメッセージが表示された場合は、発行元が「YAMAHA CORPORATION」であることを確認して、[インストール] をクリックします。

- 11 インストールが終わると、インストールが終了した旨の画面が表示されますので、[完了] をクリックします。これで、USB-MIDI ドライバーのインストールは完了しました。

### ソフトウェアのアンインストール

あらかじめ下記設定を行なった上で各ソフトウェアを削除してください。

- 1 コンピューターから、マウスとキーボード以外の USB 機器をすべて外します。
- 2 管理者権限のあるアカウントで Windows にログオンします。アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。

#### Steinberg CC121 Extension の削除

- 3 [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムと機能] を選択し、「プログラムのアンインストールまたは変更」を表示します。
- 4 [Steinberg CC121 Extension] を選択します。
- 5 [アンインストール]/[アンインストールと変更] をクリックします。ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

#### NOTE

- ・ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックします。

#### USB-MIDI ドライバーの削除

- 3 CD-ROM ドライブに TOOLS for CC121 CD-ROM を挿入します。
- 4 CD-ROM 内の [USBdrvVista\_ ] フォルダから [Uninstall] フォルダを開き、[uninstall.exe] をダブルクリックします。画面の指示に従って削除を実行してください。

#### NOTE

- ・ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックします。

- 5 削除を完了するために再起動を促す画面が表示されますので、画面の指示に従ってコンピューターを再起動します。

## ■ Macintoshの場合

### インストール前の準備

- 1 CC121の[STANDBY/ON]スイッチがSTANDBYの状態(■)であることを確認します。
- 2 コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外し、CC121をコンピューターのUSB端子にハブを使わず直接つなぎます。
- 3 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログインします。
- 4 TOOLS for CC121 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

### Steinberg CC121 Extension のインストール

- 5 CD-ROM内の「Extensions」フォルダーを開き、「Steinberg CC121 Extension.pkg」をダブルクリックします。  
「ようこそSteinberg CC121 Extension インストーラーへ」という画面が表示されます。

#### NOTE

- ・このパッケージには、ソフトウェアをインストールできるかどうかを判断するプログラムが含まれています。「続けてもよろしいですか?」というダイアログが表示されたら、[続ける]をクリックしてください。

- 6 [続ける]をクリックします。

#### NOTE

- ・すでにSteinberg CC121 Extensionがインストールされている場合は、既存のソフトウェアが上書きされます。

- 7 画面の指示に従ってインストールを実行します。

#### NOTE

- ・インストール先の選択では起動ディスクのみが選択可能です。

- 8 インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。[閉じる]をクリックします。

## USB-MIDI ドライバーのインストール

- 9 CD-ROM内の「USBdrv」フォルダーを開き、「YAMAHA USB-MIDI v\*\*\*.mpkg」をダブルクリックします。  
「ようこそ USB-MIDI Driver インストーラーへ」という画面が表示されます。

#### NOTE

- ・ファイル名の\*\*\*にはバージョン番号が入ります。

- 10 「ようこそUSB-MIDI Driver インストーラーへ」という画面が表示されますので、[続ける]をクリックします。

- 11 画面の指示に従ってインストールを実行します。

#### NOTE

- ・お使いのOSのバージョンによっては、インストールの途中にパスワードの入力を求める「認証」ウィンドウが表示されます。管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力します。パスワードを設定していない場合はそのまま[OK]をクリックします。

- 12 [STANDBY/ON] スwitchを押して、CC121の電源をオンにします。  
CC121がMacintoshに認識されます。

以上で必要なソフトウェアのインストールは完了です。

## ソフトウェアのアンインストール

### Steinberg CC121 Extension の削除

[ライブラリ] → [Application Support] → [Steinberg] → [components] から「cc121\_extension.bundle」ファイルを削除します。

### USB-MIDI ドライバーの削除

以下のファイルを削除すると、ドライバーが削除されます。

[ユーザー (Users)] 内の各ユーザーフォルダー → 「ライブラリ」 → 「Preferences」 → 「jp.co.yamaha.USBMIDIriver.plist」 (ドライバーロード後に作成されます)

[ライブラリ] → 「Audio」 → 「MIDI Drivers」 → 「YAMAHAUSBMIDIriver.plugin」

[ライブラリ] → 「PreferencePanels」 → 「YAMAHAUSBMIDIPatch.prefPane」

[ライブラリ] → 「Receipts」 → 「YAMAHA-USBMIDIriver.pkg」

[ライブラリ] → 「Receipts」 → 「YAMAHA-USBMIDIPatch.pkg」

#### NOTE

- ・ドライバーを削除することができるのは管理者だけです。通常のユーザーには削除する権限がありません。

# セットアップ

TOOLS for CC121 のインストール (10 ページ) が行なわれていれば、いつでも CC121 を使用できます。使用する際には、次の手順で CC121 を Cubase に認識させてください。

- 1** **すでに Cubase が起動している場合は終了させます。**  
Cubase に CC121 を認識させるには、CC121 とコンピューターを接続し、先に CC121 の電源をオンにしてから Cubase を起動する必要があります。
- 2** **「電源の準備」(8ページ)に従ってCC121の電源を入れる準備を行ってから、CC121の [STANDBY/ON] スイッチを ON(■) にします。**


**注意!**

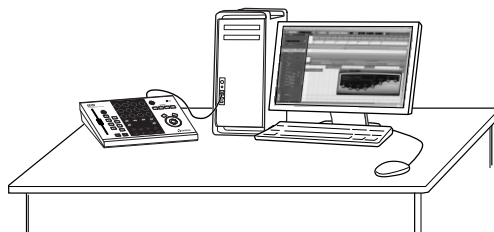
USB ケーブルは、ソフトウェアのインストール (10 ページ) 時と同じ USB 端子にケーブルを差し込んでください。別の USB 端子に接続した場合は、CC121 の電源をオンにしたときに、もう一度 USB-MIDI ドライバーのインストールが行なわれます。

- 3** **Cubase を起動します。**  
CC121 が Cubase 上で認識され、連携機能が利用可能な状態になると、フロントパネルの Cubase LED が点灯します。

**NOTE** 

- 電源アダプターの本体への接続および接続の解除は、本体の電源をオンにしてから行なっても問題ありません。

-  本体と接続しているコンピューターの電源を切った場合、本体の [STANDBY/ON] スイッチを STANDBY(■) にしてください。



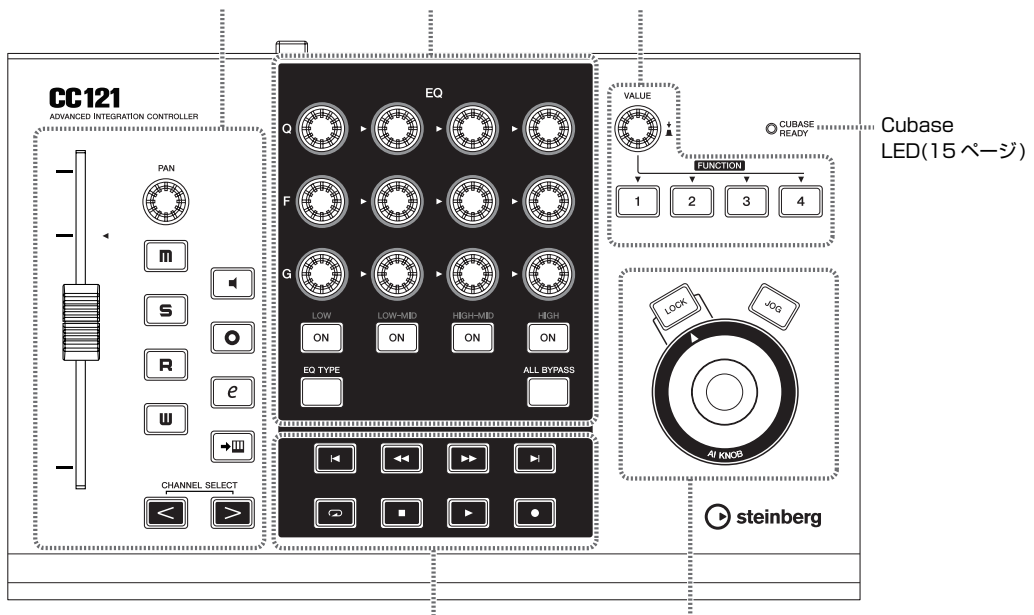
# 各部の名称と機能

## フロントパネル

チャンネルセクション(15 ページ)

EQ セクション(16 ページ)

ファンクションセクション(17 ページ)



トランスポートセクション(17 ページ) AI KNOB セクション(19 ページ)

### ■ Cubase LED

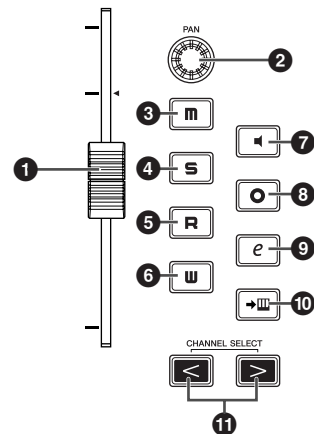


CC121の起動状態やCubaseとの通信状態を表すLEDです。CC121とコンピューターをUSBケーブルで接続し、USBバスパワー電源でCC121が動作していると、LEDが点滅します。またCC121との連携機能に対応したCubaseと通信可能な状態になるとLEDが点灯します。

### 重要!

CC121との連携機能を実現できるCubaseは、CubaseやCubase AIなどのバージョン4.5以降になります。詳しくは、下記URLをご覧ください。  
[http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates\\_cc121\\_j](http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_cc121_j)

### ■ チャンネルセクション



Cubase上で選択したトラックの各種操作を行いません。オートメーションの書き込み時には、このセクションで行なった操作をそのまま記録できます。

#### ① フェーダー

Cubaseのミキサーのフェーダーを操作する、タッチセンス付き100mmモーターフェーダーです。操作対象となるトラックが切り替わると、切り替え先トラックの設定に合わせてフェーダー位置が自動調節されます。



**NOTE**

- ・ モーターフェーダー機能は、電源アダプターを接続しているときにのみ利用できます。
- ・ フェーダーのタッチセンス感度を調整できます。詳しい設定方法は「フェーダーのタッチセンス感度を調整する」(21 ページ)をご覧ください。

**2 PAN ノブ**

PAN パラメーターを操作します。

**3 [M] (ミュート) ボタン**

ミュートのオン / オフを切り替えます。

**4 [S] (ソロ) ボタン**

ソロのオン / オフを切り替えます。

**5 [R] (オートメーション読み込み) ボタン**

オートメーションの読み込み機能をオン / オフに切り替えます。

**6 [W] (オートメーション書き込み) ボタン**

オートメーションの書き込み機能をオン / オフに切り替えます。

**7 [M] (モニタリング) ボタン**

モニタリングのオン / オフを切り替えます。

**8 [R] (録音可能) ボタン**

録音を可能 (オン) にするか不可能 (オフ) にするかを切り替えます。

**9 [E] (チャンネル設定) ボタン**

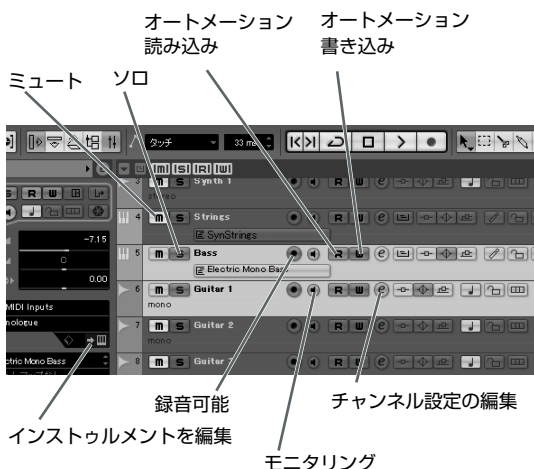
選択しているチャンネルの設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。

**10 [I] (インストゥルメント編集) ボタン**

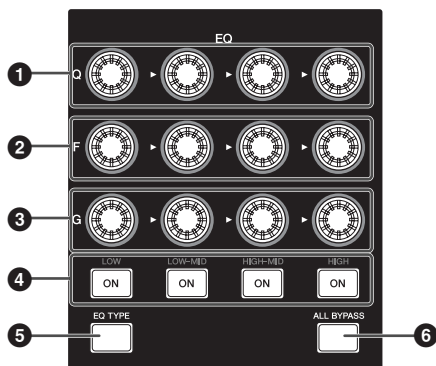
選択中のトラックにおいて、VST インストゥルメントの設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。

**11 CHANNEL SELECT [◀][▶] ボタン**

操作対象となるトラックを選択します。



**EQ セクション**



オーディオトラックやインストゥルメントトラックなどに搭載される、4 バンド EQ を操作します。

各バンドの Q/F/G パラメーターの操作、EQ タイプの変更、バイパスのオン / オフなど、EQ 設定に必要な操作すべてが行なえます。

**1 [Q] ノブ**

各 EQ バンドの Q を調節します。

**2 [F] (フリケンシー) ノブ**

各 EQ バンドの中心周波数を調節します。

**3 [G] (ゲイン) ノブ**

各 EQ バンドのゲインを調節します。

**4 [ON] ボタン**

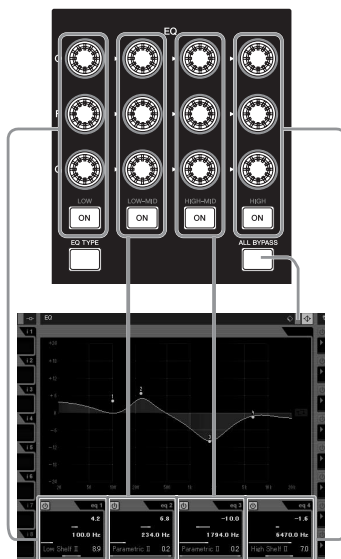
各 EQ バンドのオン / オフを切り替えます。

**5 [EQ TYPE] ボタン**

EQ バンドのタイプを変更する EQ 変更モードのオン / オフを切り替えます。ボタンをオンにして、各バンドの Q/F/G ノブのいずれかを操作すると、操作したバンドの EQ タイプを選択できます。

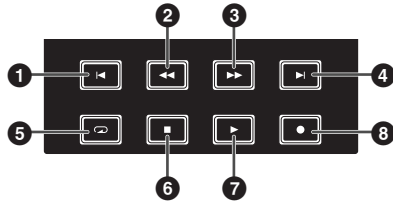
**6 [ALL BYPASS] ボタン**

EQ のバイパスオン / オフを切り替えます。





## ■ トランスポートセクション



Cubase のトランスポート操作を行ないます。

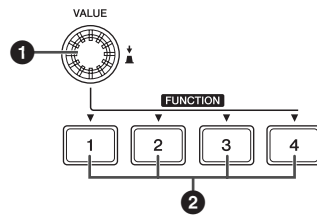
- ① [◀] (プリビース) ボタン  
現在位置の一つ手前のマーカー位置 ( マーカーがないときはプロジェクトの先頭) に移動します。
- ② [◀◀] (リワインド) ボタン  
巻き戻しを行ないます。
- ③ [▶▶] (フォワード) ボタン  
早送りを行ないます。
- ④ [▶] (ネクスト) ボタン  
現在位置の先のマーカー位置に移動します。
- ⑤ [🔄] (サイクル) ボタン  
サイクルモードのオン / オフを切り替えます。
- ⑥ [■] (停止) ボタン  
再生中のプロジェクトを停止します。
- ⑦ [▶] (再生) ボタン  
プロジェクトを再生します。
- ⑧ [●] (録音) ボタン  
録音可能ボタンがオンになっているトラックの録音を行ないます。

### NOTE

- リアパネルの FOOT SW 端子にフットスイッチ ( ヤマハの FC5 など) を接続すると、トランスポートパネルなどの任意のパラメーター割り当てて操作できます。フットスイッチにパラメーターを割り当てる方法については、「User Assignable 選択時の機能」(18 ページ) をご覧ください。



## ■ ファンクションセクション



Cubase のコントロールルームミキサーを操作したり、Cubase の任意のパラメーターを割り当てて操作したりできます。ファンクションセクションのボタンやノブの機能は、次の 3 種類から選択できます。

### Studio Control :

コントロールルームミキサーのスタジオレベルを調節します。

### Monitor Control:

コントロールルームミキサーのモニターレベルを調節します。

### User Assignable:

Cubase の任意のパラメーターを割り当てて操作します。パラメーターの割り当て方法については、「User Assignable 選択時の機能」(18 ページ) をご覧ください。

### NOTE

- コントロールルーム機能を搭載しない Cubase AI 4 をお使いの場合は、User Assignable のみ利用できます。

機能の切り替えは、デバイス設定画面 ([ デバイス] → [ デバイス設定 ]) 上で設定できます。デバイス設定画面左側の「デバイス」欄で「リモートデバイス」→「Steinberg CC121」を選択し、画面内の「バンク」から選択します。



### ① VALUE ノブ

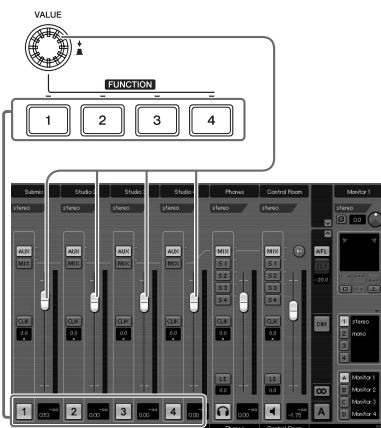
レベル調節とオン / オフ操作が行なえる、プッシュ式のエンコーダーノブです。

### ② FUNCTION [1] ~ [4] ボタン

VALUE ノブで操作するパラメーターを選択します。どのボタンが選択されているかは、ボタンの点灯 / 消灯で確認できます。

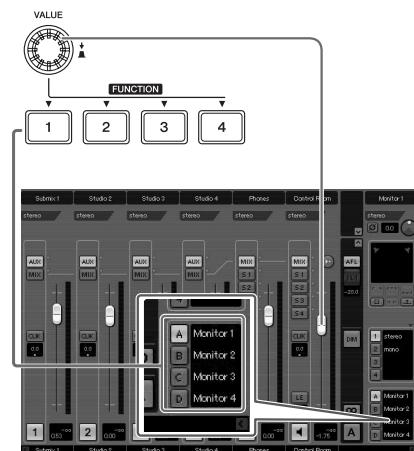
## Studio Control 選択時の機能

FUNCTION [1] ~ [4] ボタンで操作対象となるスタジオを選択し、VALUE ノブでスタジオの出力レベルを調節できます。VALUE ノブを押すと、スタジオのオン / オフが切り替えます。



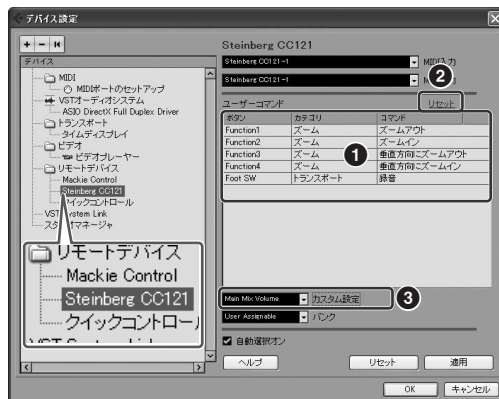
## Monitor Control 選択時の機能

FUNCTION [1] ~ [4] ボタンでレベルを調節するモニターセットを選択し、VALUE ノブでシグナルレベル (モニター出力レベル) を調節できます。VALUE ノブを押すと、コントロールルームの出力オン / オフを切り替えます。



## User Assignable 選択時の機能

VALUE ノブや FUNCTION [1] ~ [4] ボタン、FOOT SW 端子 (20 ページ) に接続されているフットスイッチに割り当てられている機能を操作できます。パラメーターの割り当ては、デバイス設定画面 ( [デバイス] → [デバイス設定] ) で行ないます。デバイス設定画面左側の「デバイス」欄で「リモートデバイス」→「Steinberg CC121」を選択し、表示される下記パラメーターを設定します。



### ① ユーザーコマンド

FUNCTION [1] ~ [4] ボタン (「Function1」~「Function4」) と FOOT SW 端子に接続されているフットスイッチ (「Foot SW」) に割り当てる機能を「カテゴリ」および「コマンド」欄から選択します。

### ② リセット

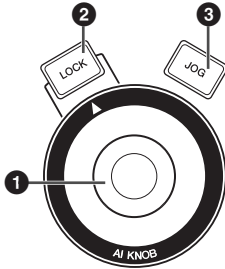
ユーザーコマンド (①) の設定をすべて初期設定に戻します。

### ③ カスタム設定

VALUE ノブの機能を割り当てます。下記の 4 種類の設定ができます。

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <b>Metronome Level:</b> | VALUE ノブを回すと、メトロノーム音の出力レベルを調整できます。VALUE ノブを押すと、メトロノーム機能のオン / オフを切り替えます。   |
| <b>Main Mix Volume:</b> | VALUE ノブを回すと、メインアウトの出力レベルを調整できます。VALUE ノブを押すと、メインアウトのミュートのオン / オフを切り替えます。   |
| <b>CR Volume:</b>       | VALUE ノブを回すと、コントロールルームミキサーの Monitor の出力レベルを調整できます。VALUE ノブを押すと、モニター出力の有効 / 無効を切り替えます。この設定値は、Cubase シリーズの中で最上位の Cubase でのみ利用できます。    |
| <b>CR Phones:</b>       | VALUE ノブを回すと、コントロールルームミキサーの Phones の出力レベルを調整できます。VALUE ノブを押すと、Phones の出力の有効 / 無効を切り替えます。この設定値は、Cubase シリーズの中で最上位の Cubase でのみ利用できます。 |

## ■ AI KNOB セクション



Cubase の任意のパラメーター操作、プロジェクトの現在位置の移動などを行ないます。

### 1 AI KNOB

Cubase の主要な画面およびプラグインソフトウェアの任意のパラメーターをコントロールしたり、ジョグシャトルとして使用したりできる、マルチファンクションノブです。[LOCK] ボタンや [JOG] ボタンのオン / オフ状態に応じて、操作可能なパラメーターが変化します。[LOCK] ボタンおよび [JOG] ボタンがオフのときは、Cubase 上でマウスポインターを合わせたパラメーターを調節できます。



マウスポインターを合わせたパラメーターを調節



### NOTE

- AI KNOB で操作可能なパラメーターは、Cubase の主要な画面およびプラグインソフトウェアの、オートメーション可能なパラメーターです。プラグインソフトウェアに関しては、Cubase に標準搭載されている VST3 プラグインが対応しています (2008 年 7 月現在)。対応するプラグインソフトウェアに関しての最新情報は、下記 URL をご覧ください。

[http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates\\_cc121\\_j](http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_cc121_j)

### 2 [LOCK] ボタン

AI KNOB で操作するパラメーターを固定します。Cubase の操作したいパラメーターにマウスポインターを合わせてボタンをオンにすると、以降はマウスポインター位置にかかわらず、ロックしたパラメーターを操作できます。ボタンをオフにすれば、すぐにロックを解除して、ほかのパラメーターを操作できます。



パラメーターをロック



マウスポインターの位置にかかわらずパラメーターを調節

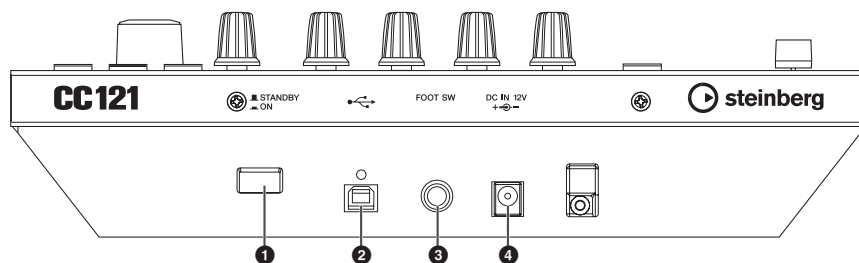
### 3 [JOG] ボタン

AI KNOB でタイムポジションスライダーを操作する、ジョグシャトル機能のオン / オフを切り替えます。[JOG] ボタンをオンにすると、AI KNOB を回してプロジェクトの現在位置を移動できます。[JOG] ボタンをオンにした状態で [LOCK] ボタンをオンにすると、ノブから手を離れたあとも現在位置の移動を続けられます。

タイムポジションスライダー



## リアパネル



### ① [STANDBY/ON] スイッチ

電源のオン / オフ (スタンバイ) を切り替えます (9 ページ)。

### ② USB TO HOST 端子

USB ケーブルを使ってコンピューターと CC121 を接続します。

### ③ FOOT SW 端子

別売のフットスイッチ ( ヤマハの FC5 など ) を接続します。フットスイッチを接続すれば、トランスポート操作など、Cubase の任意のパラメーターを割り当てて操作できます。

フットスイッチにパラメーターを割り当てる方法については、「User Assignable 選択時の機能」(18 ページ) をご覧ください。

### ④ DC IN 端子

付属の電源アダプターを接続します。

#### NOTE

・ CC121 のモーターフェーダー機能を利用する場合は、電源アダプターによる電源供給が必要です。

# フェーダーのタッチセンス感を調整する

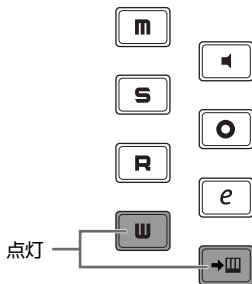
CC121 は、フェーダーのタッチセンスの感度を 8 段階 (1 ~ 8) で調整できます。

**1** CC121 の [STANDBY/ON] スイッチを STANDBY (■) にし、コンピューターと CC121 の USB TO HOST 端子を USB ケーブルで接続します。

**2** コンピューターを起動します。

**3** CC121 の CHANNEL SELECT [◀] ボタンと CHANNEL SELECT [▶] ボタンを押しながら [STANDBY/ON] スイッチを ON (■) にします。

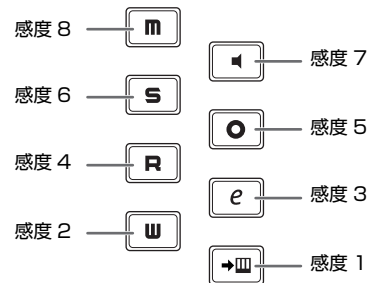
本体の Cubase LED が点滅し、現在設定されているタッチセンスの感度の値が、チャンネルセクションの [M] (ミュート) ボタン ~ [→] (インストールメント編集) ボタンの 8 つのボタンの点灯状態で表されます。たとえば、感度が 2 に設定されていると、下側にある [W] (オートメーション書き込み) ボタンと [→] (インストールメント編集) ボタンの 2 つのボタンが点灯します。



**4** [M] (ミュート) ボタン ~ [→] (インストールメント編集) ボタンの 8 つのボタンのうち、設定したい感度に該当するボタンを押します。

感度 1 が最も鈍く、感度 8 が最も敏感な設定になります。各ボタンが対応する感度の値については、下記表をご覧ください。

| 感度 | ボタン                    |
|----|------------------------|
| 8  | [M] (ミュート) ボタン         |
| 7  | [◀] (モニタリング) ボタン       |
| 6  | [S] (ソロ) ボタン           |
| 5  | [○] (録音可能) ボタン         |
| 4  | [R] (オートメーション読み込み) ボタン |
| 3  | [e] (チャンネル設定) ボタン      |
| 2  | [W] (オートメーション書き込み) ボタン |
| 1  | [→] (インストールメント編集) ボタン  |



ボタンを押した時点で本体の内部メモリーにその感度の値が保存され、該当するボタンが点灯します。

**5** 本体のフェーダーに触れ、感知したことを表すトランスポートセクションの [○] (録音) ボタンの点灯状況を確認します。

**6** 手順 4 ~ 5 を繰り返し、適切な感度に調整します。

**7** 感度の設定が終わったら、[STANDBY/ON] スイッチを STANDBY (■) にします。

これで、感度の調整は終わりです。

# トラブルシューティング

## ● 電源が入らない

- ・ コンピューターと CC121 が USB ケーブルで正しく接続されていますか？ 本体の電源をオンするには USB バスパワーの電源供給が必要です。電源アダプターはモーターフェーダー駆動用の補助電源です。
- ・ 正常な USB ケーブルを使っていますか？ USB ケーブルが断線などで劣化している場合は、正常な USB ケーブルに交換してください。また 1.5m 以下の USB ケーブルをお使いください。
- ・ コンピューターと CC121 を、バスパワータイプの USB ハブ経由で接続していませんか？ USB ハブを経由しなければいけない場合は、セルフパワータイプの USB ハブを使って接続してください。

## ● Cubase 上で CC121 が認識されない / Cubase をリモートコントロールできない

- ・ コンピューターと CC121 が USB ケーブルで正しく接続されていますか？
- ・ 正常な USB ケーブルを使っていますか？ USB ケーブルが断線などで劣化している場合は、正常な USB ケーブルに交換してください。また、1.5m 以下の USB ケーブルをお使いください。
- ・ Cubase 起動前に CC121 の電源をオンにしましたか？
- ・ USB-MIDI ドライバーおよび Steinberg CC121 Extension はインストールされていますか？

- ・ (Windows XP の場合のみ) USB-MIDI ドライバーの「Use Device Name As Port Name」のチェックがはずれていませんか？ 「スタート」→「コントロールパネル」→「Yamaha USB-MIDI Driver」で開く MIDI パッチ画面でご確認ください。
- ・ Cubase 上のポート設定では、CC121 が選択されていますか？ デバイス設定画面（[デバイス] → [デバイス設定]）の左側にある「デバイス」欄で、「リモートデバイス」の「Steinberg CC121」を選択し、「MIDI 入力」/「MIDI 出力」をご確認ください。
- ・ Cubase のリモートコントロールの設定は正しいですか？ Cubase の取扱説明書をご参照ください。

## ● CC121 のフェーダーを動かしても Cubase 上で認識されない

- ・ フェーダーのタッチセンスの感度は適切ですか？ 「フェーダーのタッチセンス感度を調整する」(21 ページ) で説明している方法で、タッチセンスの感度を調整してみてください。

## ● モーターフェーダーが駆動しない

- ・ 電源アダプターが正しく接続されていますか？ モーターフェーダーを駆動させるには、USB バスパワーの電源供給だけでなく、電源アダプターを接続する必要があります。
- ・ フェーダーのタッチセンスの感度は適切ですか？ タッチセンスの感度が強すぎると、フェーダーに触れていなくても駆動を止めてしまう可能性があります。タッチセンス感度を調整してください(21 ページ)。

# 仕様

|        |  |
|--------|--|
| 接続端子   | USB TO HOST 端子、FOOT SW 端子、DC IN 端子   |
| 電源     | ・ USB バスパワー：5V/500mA<br>・ 電源アダプター(モーターフェーダー駆動用)：PA-3C またはヤマハ推奨の同等品                                       |
| 消費電力   | ・ USB バスパワー：1.5W<br>・ 電源アダプター(モーターフェーダー駆動用)：5W   |
| 最大外形寸法 | 284(W)x72(H)x185(D)  |
| 質量     | 1.5kg  |
| 付属品    | 電源アダプター(PA-3C またはヤマハ推奨の同等品)、USB ケーブル、CD-ROM (TOOLS for CC121)、DVD-ROM (Cubase AI 4)、保証書、オペレーションマニュアル(本書) |

仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

# TOOLS for CC121 のご使用条件

## ソフトウェアのご使用条件

ヤマハ株式会社（以下「ヤマハ」といいます。）では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用はおやめください。

## ソフトウェア使用許諾契約

### 1. 著作権および使用許諾

ヤマハはお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、ヤマハまたはヤマハのライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・ お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- ・ バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されているヤマハの著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- ・ お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

### 2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- ・ ヤマハの許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用 M I D I データ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

### 3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、ヤマハからの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

### 4. 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、ヤマハは、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から 14 日間に限り（お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします）、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用などヤマハの責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。ヤマハはそれ以上の保証はいたしません。

### 5. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。



## 6. 責任の制限

ヤマハの義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

ヤマハは、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別な損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対するヤマハの責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

## 7. 第三者のソフトウェア

ヤマハは、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、ヤマハによるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとしします。

- ・ ヤマハは、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- ・ ヤマハは、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- ・ ヤマハは、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別な損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

## 8. 一般事項

本契約条項は、ヤマハの権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとしします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

# Cubase AI 4 のご使用条件

## Steinberg ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約 (EULA)

### 概要

本ソフトウェアに含まれる知的財産はすべて Steinberg Media Technologies GmbH（スタインバーグ・メディア・テクノロジーズ社）（以下「Steinberg」という）とそのサプライヤーに帰属し、Steinberg は、本契約の諸条件に従いユーザーに本ソフトウェアをコピー、ダウンロード、インストールおよび使用することを、これに限定して許可するものとします。**不正コピーに対する保護として本ソフトウェアはプロダクト・アクティベーション機能を備えていることがあり、アクティベーション作業が完了した場合のみ本ソフトウェアを半永久的に使用することができます。**本ソフトウェアは Steinberg Key（ dongle ）および Soft-eLicenser のいずれかもしくは両方を使用しないと起動することができません。また OEM 製品の使用には個人登録が必要となります。**トライアル・バージョンのソフトウェアについては、30 日間の制限の中でご使用頂くことができます。**本製品に対する個人登録を行ってはじめて本製品に対するサポート、アップグレードおよびアップデート・サービスを受ける権利が取得できます。アクティベーション作業を行なうにはインターネット接続が必要です。

ユーザー、すなわち、「ライセンサー」（使用許諾権所持者）が Steinberg ソフトウェアおよびハードウェアを使用する条件は以下に明示するとおりです。本ソフトウェアをユーザーのコンピュータにインストールした時点で、ユーザーはかかる条件を承諾したこととなります。下記文章をすべてよく読んでください。これらの条件を受け入れられない場合、本ソフトウェアのインストールを行わないでください。

この場合、本製品（これに付属されていた全ての印刷資料、完全な状態の包装材料およびハードウェアを含む）を 14 日以内に購入した販売店に返品して購入金額の払戻しを受けてください。

### 1. 定義

- 1-1. 「ソフトウェア」には (i) ソフトウェア・ファイルおよび Steinberg とサードパーティー各社によって付属される、その他すべての情報、(ii) 本ソフトウェアに含まれるデモ・ソングならびにオーディオおよびビデオ・ファイル、(iii) これらに付属する

文書（マニュアル）(iv) すべての修正（アップデート）版およびコピーが含まれます。また、機能拡張のためのアップデート、アップグレード、パッチなどの形で Steinberg が提供するものもこれに当たりますが、これらについても本規定が共通して該当するものとしします。



1-2. 本ソフトウェアおよびユーザーが作成する本ソフトウェアの許可される範囲のコピーは、すべて Steinberg とそのサプライヤーの知的財産とします。本ソフトウェアの構造、構成およびコードは Steinberg とそのサプライヤーの貴重な企業機密です。本ソフトウェアは特にドイツ連邦共和国およびその他の国々の著作権法はもとより国際協定によっても法的に保護されています。

## 2. ライセンスの付与

2-1. Steinberg は本契約条件に従い本ソフトウェアの使用についての非独占的ライセンスをユーザーに対して付与します。ただしユーザーは、本ソフトウェアを賃貸、貸借またはその再使用許諾契約を締結することはできません。

2-2. ループファイルと呼ばれるサンプルデータ や MIDI データは Big Fish Audio 社、Yamaha、およびその他の会社または個人がそれぞれ所有権を保持しており、その使用については、使用ライセンスを持つユーザーがそれらサンプルデータや MIDI データを自己の二次的音楽作品の一部として取り込み、ライブ、録音演奏用作品を作成することを目的とする場合のみ、Steinberg によりライセンスが許可されます。本ライセンスではサンプルデータや MIDI データの使用と修正変更、およびサンプルデータや MIDI データの著作権保有団体もしくは著作権保有者の権利侵害が無いことを条件として、作成された二次的音楽作品を市販することが認められます。これらのサンプルデータや MIDI データはたとえ修正変更前であっても、また二次的音楽作品の一部としてでも、サンプルデータや MIDI データを集めたライブラリー製品に組み入れてはなりません。

2-3. 本ソフトウェアが Steinberg key のみにより保護されている場合、ユーザーはユーザーが所有する 1 台から、最大 3 台までのコンピュータに本ソフトウェアのライセンスをインストールすることができます。Steinberg Key を使用して本ソフトウェアを同時に使用できるのはこれらのコンピュータのうち 1 台のみです。(i) 本ソフトウェアが Soft eLicenser により保護されている場合 (同時に Steinberg key により保護されているか否かは問いません)、また (ii) 他のソフトウェアやハードウェア (以下「OEM ソフトウェア」という) に同梱されユーザーが新品として購入した場合、または、(iii) **ソフトウェアが 30 日間の制限の中でのみ使用可能な場合 (以降「トライアル・バージョン」と表記します。)** は、ユーザー所有のコンピュータのうち一台のみで本ソフトウェアのインストールおよびライセンス使用が可能となります。

2-4. ネットワーク上での本ソフトウェアの使用は、当該プログラムが同時に複数のユーザーによって使用される可能性がある場合違法となります。

2-5. 保管以外の目的に使用しない限り、ユーザーは本ソフトウェアのバックアップコピーを作成することができます。

2-6. ユーザーが本ソフトウェアを使用できる権利またはそれによって得る利益は本契約に明記された権利に限定されます。Steinberg とそのサプライヤーは明確に付与されていない全ての権利を保有するものとします。

2-7. Steinberg 製品には Fraunhofer 社の MP3 互換のコーデック技術が含まれています。以下 Thomson Licensing S.A. の参照です。

この製品の供給は、利益を得る放送システム (地上波、衛星放送、ケーブルテレビやその他の配信チャンネル)、ストリーミング・アプリケーション (インターネット、イントラネット、その他のネットワーク)、その他の配信システム (有料、オンデマンド等のアプリケーション)、物理的なメディア (CD-ROM、DVD、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカード等) に関して、この製品で作成されたコンテンツを配布するライセンスを与えないし、いずれの権利も意味しません。

そのような使用をする為には独自の許可が必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com> を参照してください。

## 3. 本ソフトウェアのアクティベーション

3-1. Steinberg は、ライセンス管理を目的とし、不正コピーから本ソフトウェアを保護するため、本ソフトウェアのアクティベーションおよび OEM ソフトウェアのユーザー登録を義務付けることがあります。ユーザーが本契約の条件に同意しない場合、本ソフトウェアは起動しません。

3-2. この場合、本ソフトウェアを入手してから 14 日以内を条件に返品することができます。返品した場合、第 11 条に基づく請求は適用されません。

## 4. 製品登録後のサポート、アップグレードおよびアップデート

4-1. ユーザーは本製品に対する個人登録の完了を条件に本製品に対するサポート、アップグレードおよびアップデートを受けることができます。サポートは現行バージョンおよび新バージョンの発表後 1 年以内の前バージョンについてのみ提供されません。Steinberg は、サポートの対象範囲および提供方法 (電話、ウェブサイト上のフォーラム等) を一部または完全に変更することができます。**トライアル・バージョンのソフトウェアには、個人登録、サポート、アップグレード、およびアップデートは提供されません。**

4-2. 製品登録はアクティベーションの過程またはインターネットを通して後日いつでも行うことができます。製品登録の過程においてユーザーは、上記に明記した目的でユーザーの個人情報 (氏名、住所、連絡先、E メール・アドレス、誕生日およびライセンス情報) を保管、使用することに同意することが求められます。また Steinberg は、サポートの目的およびアップグレードまたはアップデートの権利を確認するため、これらのデータを関連する第三者、特にディストリビュータへ送ることができるものとします。

- 4-3. ユーザーの所在地域が EU 以外の地域である場合、データは EU 内で適用されるデータ保護レベルと同等の保護レベルを保証しない国における第三者に対しても送ることができるものとします。

## 5. ライセンス・モジュール(Steinberg Key、Soft eLicenser のいずれかもしくは両方)

- 5-1. Steinberg は、ユーザーが多数の製品を所持している場合にも、一括でライセンス管理が可能な、コンピュータの USB ポートに接続して使用するハードウェア・デバイス（以下「Steinberg Key」という）および保護機能ソフトウェア（以下「Soft eLicenser」という）のいずれか、もしくは両方（ハードウェア／ソフトウェア・ dongle）を使用します。「Steinberg Key」および Soft eLicenser は、ライセンス情報を半永久的に記憶し、ソフトウェアに対するアクセスを規制します。本ソフトウェアを使用するため Steinberg Key が必要な場合、Steinberg Key を USB インターフェイスを介してコンピュータに接続しなければなりません。
- 5-2. 本ソフトウェア、またはソフトウェアのアップデート、アップグレードのアクティベーションを行うには、Steinberg Key と接続しているか、もしくは Soft eLicenser、OEM ソフトウェア製品いずれかをインストールしているコンピュータでインターネットを通して SIA Syncrosoft 社のサーバーへ接続しなければなりません。本ソフトウェアに Steinberg Key が付属している場合、本ソフトウェアのライセンス情報は既に付属の Steinberg Key にアクティベーションされています。本ソフトウェアに “Steinberg Key Activation Code” と記されたカードのみが付属している（Steinberg Key が付属していない）場合、ユーザーはインストールを行った後に、付属されているカードに記入されているアクティベーション・コードを入力し、本製品のライセンス情報を SIA Syncrosoft 社のサーバーから取得し Steinberg Key をアクティベーションしなければなりません。
- 5-3. OEM ソフトウェア製品の場合、アクティベーション・コードはユーザーが登録した E メール・アドレスに送信されます。本コードはインストールの際、手動で入力する必要があり、これにより SIA Syncrosoft のサーバーとの間でライセンス情報の交換がおこなわれるようになります。
- 5-4. ソフトウェアをインストールしていたコンピュータ、またはそれ以外の他のコンピュータへのソフトウェアの再インストールについては、インストールされていた当該ソフトウェアがアンインストールされるなど、使用が不可となった場合のみに許可されます。当該ソフトウェアが **Steinberg key ではなく、アクティベーション・コードを必要とする場合、新規のアクティベーション・コードは個人登録の際に作成されたユーザー・オンライン・サポート・アカウントから入手することができます。**なお、このアクティベーション・コードは再インストールの際、ユーザーが手動で入力する必要があり、これにより SIA Syncrosoft の

サーバーとの間でライセンス情報の交換が行われるようになります。Steinberg は追加のアクティベーション・コードの提供にあたっては、購入記録（請求書、領収書）や住所、氏名および以前にインストールされたソフトウェアが使用不可になったことを証明する旨の署名入り確認書をファックスもしくは郵便にて送付するようお願いがあります。**トライアル・バージョンのソフトウェアに関しては、別のコンピュータにインストールした場合においても、合計で 30 日間のみご使用頂くことができます。**

- 5-5. またユーザーは、ソフトウェアが Steinberg key を使用している場合には、本ソフトウェアをインストール（使用）するコンピュータ以外のコンピュータを使用してアクティベーションを実行し、ライセンスデータを Steinberg Key へ送ることができます。しかしその場合、アクセス用ソフトウェア (Syncrosoft License Control Center “LCC”) をインターネットに接続したコンピュータにインストールしなければなりません。これについては別途定めるライセンス契約に従うものとします。

## 6. Steinberg Key の欠陥および紛失

- 6-1. Steinberg Key に欠陥がある場合またはこれが破損している場合、Steinberg または Steinberg と関連するサードパーティー各社は、Steinberg Key（現物）の確認を行います。確認の結果その申し立てが正当であると判断された場合、Steinberg Key およびこれに含まれるライセンスは手数料（実費）のみで交換されるものとします。ただし、ライセンスの交換は Steinberg が発行したライセンスであることを条件とします。Steinberg は、以上を限度とし、これに対する更なる申し立てについては排斥します。
- 6-2. ユーザーの責任における紛失、盗難またはその他の原因で Steinberg Key を紛失した場合、Steinberg は責任または義務を一切負わないものとします。Steinberg は登録ユーザーから紛失について通知を受け次第 Steinberg Key に保存されているライセンスの使用を禁止する権利を保有します。ただし、Steinberg Key に保存されているライセンスは交換の対象になりません。

## 7. 本ソフトウェアの修正変更

- 7-1. 本ソフトウェアの修正変更は計画されたその機能に従い本ソフトウェアが修正変更に対応できる場合のみ認められます。ユーザーは、法律により認められていない限り、本ソフトウェアのソースコードを割り出すため、本ソフトウェアの逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、あるいはその他の方法を試みることは許されません。また、ライセンス・モジュール (Steinberg Key、Soft eLicenser のいずれかもしくは両方) のアクティベーション機能あるいはその使用を回避する目的で本ソフトウェアのバイナリコードを修正変更することは、いかなる方法にかかわらず、これを行ってはなりません。

## 8. アンバンドリングの禁止

- 8-1. 通常本ソフトウェアにはさまざまな異なるファイルが含まれ、その構成が本ソフトウェアの完全な機能を保証します。本ソフトウェアは 1 つの製品としてのみ使用することができます。ユーザーは、本ソフトウェアの構成要素をすべて使用またはインストールする必要はありません。ユーザーは、新規に本ソフトウェアの構成要素を転用して本ソフトウェアの修正版またはその結果として新規製品を開発することは許されません。本ソフトウェアの構成要素を頒布、譲渡または再販の目的で修正変更することはできません。
- 8-2. また、ユーザーは、Steinberg Key をライセンスとして切り離して個別に販売することはできません。使用許諾権は常に本ソフトウェア、特にオリジナルのソフトウェア・データが収録されている媒体 (CD、DVD など) に帰属します。

## 9. 権利譲渡

- 9-1. ユーザーは、本ソフトウェアを使用する全ての権利を次の条件に従い他者に譲渡することができます。
- (a) 他者に対してこれを譲渡する場合 (i) 本契約および (ii) 本ソフトウェアをアップデートまたはアップグレードする権利とともに、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアが付属もしくはプリインストールされたハードウェア (コピー、アップグレード、アップデート、バックアップ・コピーおよび旧バージョン全てを含む) を譲渡すること。
- (b) 本ソフトウェアのアップグレード、アップデート、バックアップ・コピーおよび旧バージョンを保持しないこと。
- (c) ユーザーが有効なライセンスを取得するために従った本契約の条件およびその他の規定を譲受人が受諾すること。
- 9-2. 例えば、プロダクト・アクティベーションの実施において本契約条件を受諾できないことによる本ソフトウェアの返品は、権利が譲渡されると不可能となります。

## 10. アップグレードおよびアップデート

- 10-1. 本ソフトウェアのアップグレードまたはアップデートの使用について許可を受けるには、本ソフトウェアの旧バージョンまたは下位バージョンに対する有効なライセンスを所有している必要があります。**トライアル・バージョンのソフトウェアに関しては、アップグレード、アップデートともに対象外です。**本ソフトウェアの旧バージョンまたは下位バージョンを第三者に譲渡した時点で、本ソフトウェアのアップグレードまたはアップデートを使用する権利は失効します。
- 10-2. アップグレードまたはアップデートを取得しても、それにより本ソフトウェアを使用する権利が付与されるものではありません。
- 10-3. 本ソフトウェアの旧バージョンまたは下位バージョンに対するサポートを受ける権利は、アップ

グレードまたはアップデートをインストールした時点で失効します。

## 11. 限定保証

- 11-1. 欧州連合 (EU) 域内における本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーに対する保証については第 11-2 項に明記されており、EU 以外の地域における本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーに対する保証については本契約の第 11-3 項に明記されています。
- 11-2. EU 域内における限定保証：本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーが EU 域内に在住する場合、下記責任制限が適用されます。
- 11-2-1.  
Steinberg が本ソフトウェアをエンドユーザーとしてのユーザーに直接販売した場合、Steinberg は本ソフトウェアが受領され次第同封された説明書に記載された機能を基本的に実行することを保証します。ただし本ソフトウェアが OS およびコンピュータ・ハードウェアの必要動作環境に従い使用されることを前提とします。前記説明書に記載された機能から本ソフトウェアの機能が若干異なることがあっても、それは保証に対する請求の対象から除外されます。またこれ以外の文書および言明は、本製品の構成に関する参考にはなりません。
- 11-2-2.  
ユーザーが EU 域内の消費者である場合、製品の欠陥に対する制定法に基づく保証が適用されます。ユーザーが業務上使用している場合、Steinberg は 1 年以内にその自由裁量で義務のさらなる履行 (改善または代替品の提供) など、本製品の瑕疵に対する保証を提供します。**ただし、トライアル・バージョンのソフトウェアは保証対象外です。**
- 11-3. EU 以外の地域における限定保証：本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーが EU 以外の地域に在住する場合、下記の責任制限が適用されます。
- 11-3-1.  
Steinberg は本契約に従い本ソフトウェアの使用に関するライセンスを最初に取得する者に対して本ソフトウェアを受領してから 90 日の期間、本ソフトウェアが受領され次第同封された説明書に記載された機能を基本的に実行することを保証します。ただし本ソフトウェアが OS およびコンピュータ・ハードウェアの必要動作環境に従い使用されることを前提とします。本ソフトウェアの機能が説明書に記載された機能と若干異なることがあっても、それは保証に対する請求の対象から除外されます。またこれ以外の文書および言明は本製品の品質に関する限り意味を持ちません。
- 11-3-2.  
本ソフトウェアが説明書に記載されている機能を完全に実行できない場合、Steinberg に対する保証請求および Steinberg の義務についての

対応に関しては、Steinberg の自由裁量によるソフトウェアの交換または販売価格の払戻しにより補償されるものとします。

#### 11-3-3.

ユーザーが在住する国の法律に従った更なる保証義務については、この限りではありません。**ただし、トライアル・バージョンのソフトウェアは保証対象外です。**

## 12. 責任制限

12-1. EU 域内に在住する本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーに対する責任制限は本契約第 12-2 項に明記されており、EU 以外の地域に在住する本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーに対する責任制限は本契約第 12-3 項に明記されています。

12-2. EU 域内における責任制限：本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーが EU 域内に在住する場合、下記の責任制限が適用されます。

#### 12-2-1.

法的根拠の如何に関わらず、Steinberg は以下の規定に従って補償に応じるか、または無益な費用を避ける措置を実行することに限定されます。

#### 12-2-2.

Steinberg は、Steinberg の法定代表人、管理職従業員またはその他の代理人による意図的または重大な怠慢がもたらす損害ならびに死亡、人身傷害および保証の引受け、または調達リスクから生じる健康傷害ならびに製造物責任法に基づく損害における責任に対して責任を負うものとします。その他の代理人による重大な怠慢がもたらす損害の場合、これに対する責任は、本契約など、一般的な契約範囲で通常予想される損害に限定されるものとします。本契約では、これを超える責任は排除されるものとします。

#### 12-2-3.

損害が Steinberg の意図的または重大な怠慢によるものではない場合、Steinberg は、ある義務に対する違反行為があった場合で、義務の履行が契約目的を達成するため特に重要である場合（極めて重要な義務）に限り、これに対して責任を負うものとします。この場合、前記第 12-2-2 項の 2 および 3 文目が適用されます。**トライアル・バージョンのソフトウェアの場合は、本項目の損害に対する責任の範囲外です。**

#### 12-2-4.

データの遺失に対する責任の範囲は、データが適切かつリスクに対応するよう保管がされていたか否かを考慮した上で、当該データの回収に要する一般的費用と努力に限定するものとします。

#### 12-2-5.

また、Steinberg のこの責任制限は、請求が Steinberg の従業員に対して直接提起された場合、彼らの利益のため適用されるものとする。

12-3. EU 以外の地域における責任制限：本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーが EU 以外の地域に在住する場合、下記の責任制限が適用されます。

#### 12-3-1.

前記の権利を除き、Steinberg または Steinberg が認定したディストリビュータは、事業中断、人身傷害または過失もしくは第三者による請求から発生する間接損害を含む損失、損害、全ての請求または費用および直接または間接的損害に対して、たとえ Steinberg の代表者が、損失、損害、費用または請求の可能性について通知を受けていたとしても、これに対して責任を負わないものとします。この制限は、本契約に対する基本的違反が発生した場合も適用されるものとします。

#### 12-3-2.

本契約の文脈における Steinberg およびそのディストリビューターの全責任は、本ソフトウェアに対して支払われた金額に限定されるものとします。

#### 12-3-3.

前記制限は、責任の制限が容認されていない国においては適用されません。

## 13. 侵害

ユーザーの本ソフトウェアの使用に対して第三者が申し立てを起こした場合、速やかに書面で Steinberg にその旨を通知しなければなりません。Steinberg は、ユーザーが Steinberg を妥当に支援する限り、ユーザーを弁護します。

## 14. 最終条項

14-1. 本契約は両当事者間の主題に関する完全な了解事項を制定するものです。付帯契約は締結されていません。

14-2. 本契約に対する補足および修正は書面により行うものとします。また、本契約に含まれるいかなる要求事項に対する権利放棄についても書面で行うものとします。

14-3. 本契約のいかなる規定もその全部または一部が無効とされた場合、これにより残りの規定の適法性が影響を受けることはないものとします。無効とされた規定は当初計画された取引上好ましい目的にでき得る限り近い有効な規定と両当事者により差し替えられるものとします。これは脱落文言についても適用されるものとします。

14-4. 本契約はドイツ連邦共和国法に準拠し、同法に基づき解釈するものとし、国際物品売買に関する国連協定（CISG）は適用されません。

14-5. 本契約に基づく、または本契約に関連する全ての紛争に対する専属管轄地はハンブルグとします。Steinberg はユーザーが在住する管轄区域においてユーザーに対する訴訟を起こすことができます。



# ユーザーサポートサービスについて

## ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。

ユーザー登録手続きは、スタインバーグ・ホームページ内の「MySteinberg」で行ないます。初めて「MySteinberg」をご利用される場合は、アカウント作成が必要です。

スタインバーグ・ホームページ (MySteinberg)  
<http://service.steinberg.de/go to.nsf/show/register.j>

- ユーザー登録には、製品本体のシリアル番号 (SER No.) が必要になります。シリアル番号は、本体の底面に記載されています。
- ご登録いただいた個人情報につきましては、ご購入製品のサポート、ご購入製品や関連製品のご案内、及びご購入者分析に利用いたします。

## 住所 / 氏名 / メールアドレスの変更 (同一使用者の範囲内)

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」、「メールアドレス」などを変更された場合も、『MySteinberg』でお手続きください。

## 質問の受付

スタインバーグ製品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。

しかし、一部高機能な製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験が必要とってしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目はオペレーションマニュアルに解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではスタインバーグインフォメーションセンターを開設いたしております。

お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「MySteinberg のユーザーネーム」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「製品のシリアル番号 (SER No.)」をお知らせください。

### スタインバーグ・インフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

ヤマハ (株) スタインバーグ インフォメーションセンター

TEL : 053-460-5270

受付日 : 月曜日～金曜日

(祝祭日およびセンターの休業日を除く)

受付時間 : 13:00 ~ 18:00

スタインバーグ製品の日本語ホームページ (WEB の質問受け付け窓口)

<http://japan.steinberg.net/>

- \* ユーザーサポートサービスは日本国内においてのみ有効です。
- \* テクニカルサポートはサポート期間内の製品に限らせていただきます。

Cubase AI (付属ソフトウェア) については、スタインバーグ・ホームページの情報をご覧ください。製品に関するサポート情報や、最新のアップデートのダウンロード、FAQなどを公開しております。

Cubase AI の [ヘルプ (Help)] メニューから Steinberg 社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには、Cubase AI の PDF マニュアルなども掲載されています。)

## ● 営業窓口 LM 営業部お問い合わせ先

### ヤマハ株式会社

#### 国内営業本部 LM 営業部 企画推進室

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL. (03) 5488-5430

### PA・DMI 事業部 MP 推進部 マーケティンググループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL. (053) 460-2432

### スタインバーグ・ホームページ

<http://japan.steinberg.net/>

### お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/steinberg/>

- \* 名称、住所、電話番号、URL などに変更になる場合があります。

## ■ 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

### ● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

### ● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

### ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

#### 消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

### ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

### ● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

### ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お持込み窓口)

### ◆ 修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00

土曜日 9:00～17:30

(祝祭日および弊社休業日を除く)

ナビダイヤル  
(全国共通番号)



0570-012-808

市内通話料でOK  
ナビダイヤル ※一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL 053-460-4830)

FAX 053-463-1127

### ◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45

(浜松サービスステーションは 8:45～17:30)

(祝祭日および弊社休業日を除く)

\* お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

### 北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50

ヤマハセンター内

FAX 011-512-6109

### 首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

### 浜松サービスステーション

〒435-0016 浜松市東区和田町200

ヤマハ(株)和田工場内

FAX 053-462-9244

### 名古屋サービスセンター

〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2

ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX 052-652-0043

### 大阪サービスセンター

〒564-0052 吹田市広芝町10-28

オーク江坂ビルディング2F

FAX 06-6330-5535

### 九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX 092-472-2137

\* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。



Steinberg Web Site  
<http://japan.steinberg.net/>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation  
© 2008 Yamaha Corporation

